

標準版家族心理教育研修会 in 多摩に参加して

令和7年6月7日～8日の2日間、桜ヶ丘記念病院で開催された標準版家族心理教育研修会に参加させていただきました。精神障害者の家族支援がご本人の支援に大きな意味があることを学んできました。正しい情報提供をすることや、困りごとや悩みを明確に伝える方法を学び、アイデアを出していくことでご家族ができることを示していくことは、自分達に関わっていきたい支援であると改めて思いました。専門的知識がないために関わり方がわからなかったり、それがゆえに辛い思いをしていらっしゃるご家族の方がいる場合、その方たちを支えていくことで、ご本人の自立やご家族の安心に繋げていくことができると感じます。

家族心理教育の取り組みを事業所内で実践していくことで、事業所を超えての家族支援が実現できると思いました。

多機能型事業所ルーチャ 大島

標準版家族心理教育研修会に参加し、精神障害を抱えている方のご家族が置かれうる状況や、体験されうるお気持ち等々についてお話を聞きました。さらに、ロールプレイ演習にて、家族役となって支援者役の人に大変さを打ち明けるという体験をしました。ご本人の気持ちに添っての支援に努めるだけでなく、ご本人のすぐ近くにいらっしゃるご家族に対して、何が具体的にできるのかを考え始める契機となりました。

就労継続支援 B 型プエンテ 生活支援員 S

2日間の研修に参加して家族心理教育の基本的な進め方から、話を進めていく上でのポイントやスタッフの役割、利用者様に安心していただけるような声掛け、対応の仕方など、非常に多くの学びを得ることができました。今回学んだ事を活かしながら、今後も利用者様に寄り添った支援を提供していきたいと思えます

就労継続支援 B 型プエンテ 奥野

